

クック長老、ブラジルをおとずれる



クエンティン・L・クック長老とメアリー・クック姉妹はブラジルをおとずれ、教会員と会いました。イエス・キリストの愛について教え、その愛を分かち合いました。



クック夫妻は、ペロオリゾンテという大都市をおとずれました。この都市の名前の意味は「美しい水平線」です。クック長老は、この都市の夕日はこれまで見た中で最も美しいと語りました。

「光となるときに、わたしたちは世界に良いいきょうをあたえます。」



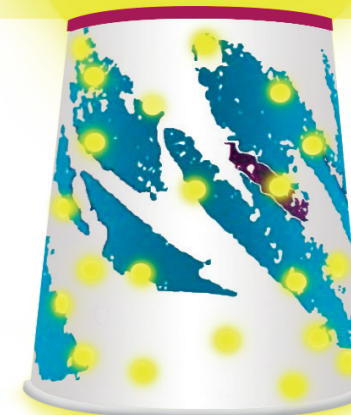
クック長老とクック姉妹は、宣教師訓練センターをおとずれました。宣教師は、日々イエス・キリストの光を分かち合っています。



子供たちは、神の使徒と会えてとても喜びました。

夕日をながめる
クック長老のように、時間を取って夕日をながめて楽しみましょう。そのときに見た夕日の絵をかきましょう。それから、友人を必要としている学校の友達や隣人、家族について考えましょう。あなたの絵を見せて、その人の一日を明るくしましょう。

ランタンをつくる



紙コップ
あな開けパンチまたは先のとがった鉛筆
懐中電灯またはペンライト

- あな開けパンチまたは鉛筆を使って、コップの周りにたくさんあなを開けます。底にもあなを開けるか、または底を完全に切り取ります（大人に助けてもらいましょう）。
- 自由にコップをかざります。それから、コップの下に懐中電灯かペンライトを置きます。
- 部屋のあかりを消して、ランタンが光るのを見ましょう！

ヒント：紙コップがない場合には、画用紙を丸めて、はしをテープでとめます。

あなたは、家庭や近所、学校でどのように光となれますか？